

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価	自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
I 町民総ぐるみによる教育の推進	<p>学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携推進(参観日出席率80%以上、保護者アンケート平均得点3.40以上) 町づくり、地域づくりの一拠点としての地域、企業・団体等との連携の推進 		<ul style="list-style-type: none"> 1月までに実施した参観日の出席率(全学年の平均)は、授業参観率が89.0%、懇談会出席率が80.6%であった。出席率が高く、PTA諸活動にも協力的である。さらに連携を密にした教育活動を展開する。 地域や企業等より外部講師を招聘しての学習活動を7月上旬に行った。 保護者アンケート調査において、「学校は家庭や地域と連携した教育活動を進めている」と答えた保護者の平均得点は3.37であった。今後も、地域人材や企業等と連携した実践を行う計画である。今後も、地域の教育資源をさらに開発しながら教育活動を展開したい。 		<p>授業参観率が高く、懇談会出席率が高いことを高く評価します。Webページの毎日更新は素晴らしい。</p> <p>学校とPTAの関係がとてもうまくいっていると思う。授業参観率89%懇談会出席率80.6%は素晴らしい。地域との連携もよく取れていると思う。水曜日の「挨拶の日」が普段への効果につながっているようです。コミュニティスクールがすでに実施されていると思う。</p> <p>PTA活動など、学校と保護者が共同した対応で効果が出ている。家庭教育学級、防災などを専門の講師で行っている。挨拶の日の設定、ラジオ体操など、企画に富んだ構成を行っている。安心メール・学校だより、回覧板を利用し、地域へ発信するなど前向きに開かれた学級づくりに取り組んでいる。外部講師を招いたり、昔の遊びや国際交流など、テレビ等で学ぶことができないことを行っている。</p>
	<p>家庭や地域の教育力の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級の活性化 地域ぐるみのラジオ体操の実施(夏休み) あいさつ運動や交通安全運動の拡大 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級では、7月に県の「みやざき家庭教育サポートプログラム」より講師を派遣してもらい実施した。また、防災士ネットワークより防災士の方に指導いただき、防災グッズづくりなども行った。今年度は家庭教育学級生に年間計画を作成していただき、充実した内容で家庭教育学級を行うことができた。 夏休み期間中に、ラジオ体操を水曜日に学校で、月・火・木・金に地域で、土・日に家庭で実施した。地域ぐるみのラジオ体操の取組は定着している。 毎週水曜日のPTA役員による挨拶運動は定着してきている。水曜日を「あいさつの日」と設定し、今後の家庭・地域へ啓発をしていきたい。また、定期的に公民館長やPTA生活指導部が中心となり、青パトで巡回しながら登下校指導を行った。 	3.8	<p>昔の遊びや国際交流員によるレクチャー等子どもたちの興味のあるものを取り入れた活動は素晴らしい。</p> <p>小・中学校の情報が入らない家庭がある。防災無線の利用はできないか。オープンスクールや発表会等校区内の方々に知らせ、関心を高めようか。</p>
	<p>開かれた学校づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信による広報活動の充実 		<ul style="list-style-type: none"> 学校Webページは、ほぼ毎日更新し、子どもたちの様子や保護者・地域への連絡など、タイムリーな情報発信を心がけている。また、安心メールによる情報の発信も行っている。さらに、学校便りを定期的に発行し、回覧板でも地域の方に見ていただけるようにしている。今後も継続した情報発信を行い、開かれた学校づくりを推進する。 10月に、各学年部において外部講師を招聘してのオープンスクールを実施した。低学年は、長寿会の方々による「昔の遊び」について、中学年は西村様、堀内様による「タグ・ラグビー」について、高学年は県の国際交流員による「国際交流」の授業を行った。また、書道や農業についてのゲストティーチャーによる授業を各学年で取り組んでいる。今後も地域と連携した教育の推進を図りたい。 		

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価	自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
II	<p>確かな学力を育む教育を推進する。</p> <p>① 学ぶ意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の学習ニーズに応じた指導方法の工夫 学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命に勉強している」と答える児童の割合90% <p>② 基礎学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別指導と見届けの充実 ICT機器の効果的な活用による授業の工夫改善 教育課程の工夫改善 CRTテストで全児童一人一人の向上と全学年全教科全国平均以上 <p>③ 読書の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書室運営の充実 年間貸出冊数10000冊 	3.1	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査において、「学校で一生懸命に勉強している」と答えた児童は95.4%であった。また、「授業が分かりやすい」と答えた児童は92.4%であった。概ね学習にきちんと取り組んでいるが、今後は個別指導も充実させたい。 特別支援コーディネーターを機能させることで、全校的な特別支援教育の推進が行えた。毎月、特別支援委員会を実施し、全体の状況を把握した。また、通級指導の充実により、個別の指導が必要な児童に手厚く指導が行え、児童の学習意欲を大きく向上させることができた。 水曜日の6校時の「習熟に特化した算数・国語」の時間により、T・Tによる授業を実施し、各学級で個別指導の充実を図った。これにより児童の学習意欲も向上した。今後も継続的な取組をしたい。 ICT機器の活用についてもOJTにより、使用方法の研修を行った。すべての学級でICT機器を使用した授業を行っている。 アンケート調査において、「家で決められた時間の学習をしている」と答えた児童は83.1%で、課題の与え方の工夫や家庭と連携した取組の充実を図る必要がある。 児童一人一人の結果を個人カルテに整理して分析を進めている。しっかりと基礎学力を付け、児童の達成感を高めたい。 初任者研修と校内研究を併せて相互授業参観や模擬授業を取り入れながら、授業力の向上を目指している。 町図書事務職員を活用し、図書室環境の整備を行った。児童の読書への意識も高まり、1月段階で11637冊の貸出し数である。 	3.4	<p>先生へのOJTや効率的な教え方、技能の向上がアンケート結果に出ているのではないかと。図書10,000冊以上の貸出し数に驚きました。</p> <p>児童の学習への意識も高く、先生方も色々な工夫を取り入れて、指導されているのを感じます。</p> <p>児童一人一人の結果を個人カルテに整理することは他の先生方にも分かりやすく、指導にも役立ち、良い取組である。</p> <p>授業が分かりやすいと答えた児童が多いのは評価できると思う。今後も読み聞かせなどを活用してほしい。</p> <p>工夫された教育をしていると思います。</p> <p>特別支援コーディネーターを機能させたことで、学習意欲を向上させ、効果が出たことに対し、先生方のご苦労が伺えます。</p>
生きる基盤を育む教育の推進	<p>豊かな心を育む教育を推進する。</p> <p>① 思いやりのある子の育成</p> <p>② あいさつの習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートにおいて「進んであいさつする」と答える児童の割合85% <p>③ 楽しい学校生活の保障</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合90% 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査において、「進んであいさつをしている」と答えた児童は88.5%であったが、全体的に積極性が今一歩である。今後、児童の自主的な取組であいさつを活性化させたい。 チャイムの合図で黙想をしてから清掃に入るように指導している。 不登校児童はいないが、毎月ハートフル委員会では気になる児童を職員で出し合い把握している。 アンケート調査において、「友達に意地悪をしていない」と答えた児童は、93.1%であった。この児童がもっと増えるように取り組みたい。 11月の参観日に全学級人権教育の公開授業を実施した。 アンケート調査において、「学校が楽しい」と答えた児童は93.8%であった。子どもへの声かけを充実させ、子ども同士のリレーションを高めていきたい。 11月に「家族のふれあい週間」を設定して、各家庭で子どもを抱きしめる、肩を叩きあうなど、心のスキンシップを深めるように保護者に呼びかけている。 	3.6	<p>不登校児童がいなくて、学校が楽しいと答えた児童が94%は高い数字です。ハートフル委員会で気になる児童を全職員で把握していることを高く評価します。</p> <p>アンケートより思いやりがあり、立派な児童に育っている様子が分かります。先生方の指導によるものだと思います。家族のふれあいの大切さにも大きいものがあると思われます。家族で培われるつながりが大事なことです。</p> <p>挨拶の大切さを教えることは大事である。小学校で学んだことを中学校でもできるようにお願いします。</p> <p>あたたかい雰囲気のある学校に思える。もっともっと挨拶が飛び交うようになると良いと思う。</p>
	<p>健やかな体を育む教育を推進する。</p> <p>① 基礎体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 新体力テストにおける一人一人の苦手項目(県平均値-5%以下)の克服 <p>② よい生活リズムの習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートにおいて「早寝早起き朝ごはんをしている」と答える児童の割合85% <p>③ 健康増進の意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートにおいて「健康で安全な生活をしている」と答える児童の割合100%及びう歯治療率80%以上 	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 11月の学校保健委員会では、外部講師より「メディア」についての話を保護者と4・5・6年生で聞く場を設定した。 現在、う歯治療率は、63.5%であった。保健便り等で啓発をしているが、個別に連絡し、対応したい。 アンケートでは、朝ごはんを食べてくる児童が94%であった。今後も家庭と連携を図っていききたい。 薬物乱用防止教室は12月に実施した。 全校集団下校の際には、登下校での交通安全指導を徹底して行い、自転車に乗る際のヘルメット着用もあわせて行った。 アンケートにおいて「健康で安全な生活をしている」と答えた児童は95.4%であった。 	3.5	<p>スマートフォン、インターネットの良い面、悪い面を保護者、児童ともにしっかり理解できるよう今後も継続してほしい。</p> <p>昼休みなどを利用して、遊びの中で体力を付ける等、基礎体力の向上に努めてほしい。</p> <p>川南町ロードレースに自ら参加し、また、子どもたちを一生懸命に応援している姿は感動しました。</p> <p>基礎体力の向上についての対策が分かりにくい。学校保健委員会の反応なども知りたかった。う歯治療率はもう少し改善が必要である。</p> <p>朝ごはんを食べてくる児童が依然と比べると改善されたのではないかと。</p>
4	<p>共生社会を目指す特別支援教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常学級における支援の充実 校内通級の活用 関係機関との連携の充実 	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の特別支援委員会で、児童の状況を把握し、積極的な指導を行うことができた。また、状況により家庭と連携し早めの対応を行うことができた。 個別の支援計画・指導計画を作成し、発達段階に応じ、見通しをもった指導をおこなうことができた。 特別支援コーディネーターを核として、るびなす支援学校やNPO等関係機関との連携を充実させることができた。 	3.5	<p>各機関との連携や個々への見通しをもった指導がなされている。毎月の特別支援委員会で状況把握を行い、適正な指導が行われたことは評価できる。また、個別に支援・指導計画を作成して、発達段階に応じた指導がなされたことも大変良かった。関係機関、外部機関と連携を取り、充実した取り組みを行なったことも評価できます。今後も継続した対応をお願いしたい。</p>

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価	自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
III 自立した社会人、職業人を育てる教育の推進	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育を推進する。 ・ ふるさと学習の推進 ・ 町歌の斉唱(入学式、卒業式、月の歌、運動会)		○ 生活科の時間を活用して芋植えや芋掘りなどを実施した。また、光タイムを活用して田植えや稲刈りなどを実施した。 ○ 入学式、5月の歌、運動会で町歌を斉唱した。 ○ ふるさと学習については、生活科や総合的な学習の時間を活用しながら推進している。今後は、内容の充実に努める。		芋植え、芋ほり、田植え、稲刈りなどを体験させることで食のありがたさ、収穫の喜びを実感するし、一生忘れることはない取組である。入学式、運動会などで町歌を歌うことで大人になっても思い出すことだと思う。職業講話は、子どもにとって興味のある話だと思う。今後も各方面から参加していただき、色々な講話を期待します。
	2 キャリア教育を推進する。 ・ キャリア教育に係る諸活動の実践と見直し ・ 幼保小連携、小中連携及び地域社会との連携の推進 ・ 先輩(中学生)の話聞く	3.2	○ 夏季休業中にキャリア教育研修を行い、総合的な学習の時間を中心に地域と連携した取組についての教育活動計画を立案した。 ○ 夏季休業中に東保育園の職員との情報交換会を設け、児童の指導に関する連携を図った。 ○ NF徳育部会の実践事項である小中連携した挨拶運動などを実践した。 ○ キャリア教育の視点でそれぞれの教育活動を見直し、今後は、各教科等との関連を図りながら充実させていく。 ○ 中学校区小中連携研究会での成果と課題を今後のキャリア教育推進に生かす。 ○ 7月に8名の地域の方々に来ていただき職業講話を行った。児童は大変興味を持って取り組んだ。	3.1	田植え、稲刈り等を通し、地域への愛着が育まれていると感じた。小中連携、幼保連携、地域との連携等活発に行われているのを感じます。 町歌や芋稲刈り等良い取組だと思う。町内の名所・遺跡、古墳、温泉を訪ねることもよいのではないかと。 様々な体験ができる活動を継続してください。
IV 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実	1 教職員の資質向上に努める。 ・ 指導者の授業力アップ(全教諭による研究授業の実施) ・ 服務規律の徹底		○ 初任者研修を活用し、研究授業と相互授業参観の充実を図り、授業力アップの視点で、できるだけ多くの授業参観を行った。また、OJTを推進し、ミニ研修会を定期的実施できるように体制づくりを行った。 ○ 7月・11月・1月にコンプライアンス研修を実施した。また、事件・事故の報道がある度に職員朝会や終礼で話し、職員のコンプライアンス意識の醸成を図っている。		興味・関心を持つことが第一歩と考えます。そのための工夫や新しい発想が必要と考えます。今後に期待したい。 今後、子どもについての事件などが多いので、職員でも話し合いは続けてほしい。すごく良い。やるべきことが多くあり、学校側も大変でしょうが、資質向上に努めていただきたい。 保護者と連携した避難訓練を行っている。 不審者対策訓練を実施してほしい。
	2 学校における安全、安心の確保に努める。 ・ 交通教室の実施(年1回) ・ 避難訓練の実施(年3回) ・ 安全点検の実施(月1回)	3.6	○ 4月に自転車の乗り方を中心に、交通教室を実施した。 ○ 6月に保護者の協力を多く得て風水害の避難訓練、9月に地震の避難訓練を実施した。 ○ 毎月第1週に全職員で担当箇所を決め、安全点検を実施している。安全上、修繕が必要な箇所は早急に対応してもらった。 ○ 避難訓練については、保護者と連携した取組を行うことができた。命の大切さの指導とともに、訓練の充実を目指す。	3.6	コンプライアンス研修は今や業種を問わず当たり前となった。今後も継続してほしい。災害に対する意識は重要だと考えます。訓練を通して意識付けをお願いします。